

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	スーパー（販売 企画担当）	来客数の動き	・3か月前は競合店のオープンなどの影響を受けて来客数が相当厳しくなっていたが、今は少し回復しているように感じる。
		観光型ホテル （マーケティング担当）	販売量の動き	・販売量に比例するホテル稼働率をみると、3か月前に比べ、前年同月比を大きく上回ったため。夏場に台風の影響を受け、予期しないキャンセルの発生があったことが要因の1つである。
		住宅販売会社 （総務・企画分野）	お客様の様子	・消費税増税の話が多くの客からあり、住宅購入をより真剣に検討している方が増えている。十分な時間をかけて、より納得のいく住宅購入を検討していることが感じられ、商談が増えている。また、フラット35など金利関連の状況もあり、商談が進んでいると考えられる。
	変わらない	百貨店（営業企 画）	販売量の動き	・前年同月対比では催事場の企画違いにより前年比94%と厳しい状況である。3か月前と比較してもほぼ変わらない前年割れの推移となっている。衣料品は10月に一部改装した効果もあり前年は上回ったが、家庭用品の前年割れが影響し、食品は「北海道物産展」が前年の10月から9月へ移動したことにより大幅に下回っている。
		スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・来客数は比較的堅調であったが、台風接近等の天候の影響で売上高が落ち込み、苦戦を強いられている。
		コンビニ（エリ ア担当）	販売量の動き	・前年の月前半は長雨だったが、今年は天候も良く前年割れの幅は2ポイント改善している。ただ商品の中でも菓子だけが大きく前年割れしている。業界的にも大きく前年割れしていると聞くと、原因は不明である。菓子が売れないのは、依然財布のひもが固い表れと考えている。
		衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・来客数が減っている。ちょうど季節の変わり目であるのが理由とみている。
		その他専門店 〔書籍〕（店 長）	販売量の動き	・3か月前の前年比の数値と比較しても下回っており、いまだ回復の兆しは無い。この業界自体低迷しているなか、打開策が見えてこない。
		ゴルフ場（経営 者）	来客数の動き	・低い客単価設定にすると集客も可能であるが、その一方で高単価の客が落ち込んでいく現状もある。どうコントロールするかの問題もあるが、それを含めて分からない状況である。
やや悪く なっている		コンビニ（経営 者）	来客数の動き	・来客数の前年同月比が伸び悩んでいる。
	コンビニ（経営 者）	単価の動き	・客単価が前年と比べ3%減少している。	
	観光名所（職 員）	来客数の動き	・台風の影響や尖閣問題等で予約数が減少している。	
悪く なっている	その他専門店 〔楽器〕（経営 者）	販売量の動き	・来客数、販売量及び販売単価も減少している。台風の影響で観光客の減少も影響している。本来、9～10月はまだ大学生などの観光客が多い時期ではあるが、台風の影響もあり大きく減少している。また、今月はイベントも多いが売上は減少している。人出は多いが、リピーターの増加で沖縄関連の商品は減っている。もう既に持っているのか、または時代にそぐわない商品構成なのか不明であるが、廃業も検討している。	
	その他飲食〔居 酒屋〕（経営 者）	お客様の様子	・10月は例年2月並みに売上が落ちる月ではあるが、低価格のイベントを打っても平日の客の反応が薄い。外国人観光客も減っているため平日の売上がかなり落ちている。	
企業 動向 関連  (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 （管理部門）	受注量や販売量 の動き	・前月及び前年同期比で売上高が増加している。
		建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・注文住宅、及びリフォーム工事件数の契約数が増加している。
		輸送業（本社事 業本部）	受注量や販売量 の動き	・取引先の新規出店に伴い取扱数量、離島及び本土経路の海上輸送等が増加していることで売上が増加している。

変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは横ばい、民間工事向けは個人住宅、貸家建築でやや増加している。
	輸送業（代表者）	受注量や販売量の動き	・台風の襲来が多く、輸送量は減っているが、その分受注残として残っている。
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・3か月前と比べて特に良くなる要素も悪くなる要素も無い。しかしながら、人の採用、取引の様子等では、将来的には良い方向に向かっているような気がする。
	会計事務所（所長）	競争相手の様子	・前年ほど観光業界はひどくなく、好転の兆しはあるが、今年は天候要因が業績に大きく影響している。
	コピーサービス業（営業担当）	取引先の様子	・多くの公共団体で、予算削減をしていると聞いている。ただ、今年度の予算が組まれているため仕事量は減っていない。
やや悪くなっている	-	-	-
悪くなっている	-	-	-
雇用関連 (沖縄)	良くなっている	-	-
	やや良くなっている	-	-
変わらない	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・受注案件が、ここにきて減少してきている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・若干、求人数が減少している。
やや悪くなっている			
悪くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・前月に比べ、新卒対象の求人数が4割減っている。1人あたりの求人倍率が高くなっている。